

成人を祝う会



1月8日（祝）に、本校を卒業生した新成人を招き、「成人を祝う会」を開催しました。式典では、在校生からのお祝いの演奏として「ニュルンベルクのマイスターズinger」が贈られ、華やかな会となりました。

晴れ着をまとい、6年間をともに過ごした同級生や教員との久々の再会に、思い出に残る成人の日になったことでしょう。

以下に、新成人代表として「成人を祝う会」の運営を担当した卒業生の声を紹介します。

今までは単なる祝日だと感じていた成人の日は、一生に一度だけ自分にとって特別な日になるということを実感しました。朝から振袖を着飾っていたこの日1番の楽しみは、洗足の友達と会うことでした。6年間同じ学校に通っていたみんなが、たくさんの大学へ散らばりどのように過ごしているのかということが気になっていました。

友達と話をすると、一生懸命に取り組んでいる事柄や悩みなどは本当に人それぞれだと感じました。大学へ進学した人や就職した人もいますが、それぞれが充実しているように見えました。洗足の卒業生は、自分の生活を充実させるモチベーションが高く、いつも良い刺激を受けます。

立食パーティーでは、先生方が中学3年生の時に埋めたタイムカプセルを掘ってくださり、20歳の自分へ向けた手紙を読んで大変盛り上がりました。

このように同窓会で友達に会うことで自分を振り返り、自分が1人で生きてきたのではないということや支えてくださる方への感謝を再確認し、一生に一度の、素晴らしい成人の日を過ごすことができました。

卒業生代表 C.I.



在校生よりお祝いの演奏



校長先生より



立食パーティー

